

|                |   |      |                                  |
|----------------|---|------|----------------------------------|
| 科目名            | <b>社会福祉学</b>  | 科目分類 | ■専門科目群（第1グループ）<br>□総合科目群（第2グループ） |
|                |   |      | 経済学科 □必修 ■選択                     |
|                |   |      | 学科 □必修 □選択                       |
| 英文表記           | <b>Social Welfare</b>   | 開講年次 | □1年 □2年 ■3年 □4年                  |
| ふりがな           | ふじもと つよし  | 開講期間 | ■前期 □後期 □通年 □集中                  |
| 担当者名           | <b>藤本 剛</b>   | 修得単位 | <b>2単位</b>                       |
| 授業のテーマ         | 社会福祉の基礎を理解し、低所得者、児童家庭、障がい者、高齢者の福祉の現状と課題を考える。  |      |                                  |
| 授業概要           | 少子高齢化が進展し、社会が大きく変化していく中で、社会福祉のありようも大きな変化に見舞われています。この授業では、社会福祉の基礎的な知識や考え方を学びながら、時代と共に変化する社会福祉の現状、課題、政策などについて、私たちの生活とのかかわりの中で捉え、共に考えていきたいと思えます。   |      |                                  |
| 到達目標           | 最新の社会福祉政策の流れを理解し、今後の福祉のあり方について理解を深める。   |      |                                  |
| 授業計画           |   |      |                                  |
| 第1回            | 社会福祉の考え方と社会福祉援助技術   |      |                                  |
| 第2回            | 社会福祉を取り巻く環境とこれまでの歩み   |      |                                  |
| 第3回            | 社会福祉の仕組み 及び 社会福祉サービス利用の仕組み  |      |                                  |
| 第4回            | 低所得者福祉①   |      |                                  |
| 第5回            | 低所得者福祉②   |      |                                  |
| 第6回            | 児童家庭福祉①   |      |                                  |
| 第7回            | 児童家庭福祉②   |      |                                  |
| 第8回            | 児童家庭福祉③   |      |                                  |
| 第9回            | 障がい者福祉①   |      |                                  |
| 第10回           | 障がい者福祉②   |      |                                  |
| 第11回           | 障がい者福祉③   |      |                                  |
| 第12回           | 高齢者福祉①  |      |                                  |
| 第13回           | 高齢者福祉②  |      |                                  |
| 第14回           | 高齢者福祉③  |      |                                  |
| 第15回           | まとめ   |      |                                  |
| 第16回           | 定期試験  |      |                                  |
| 授業時間外の学習       | 授業の予習・復習を心がけてください。(0.5時間程度)<br>授業で取り上げるテーマに関連するレポートやメッセージを求めることがあります。   |      |                                  |
| 履修条件<br>受講のルール | 日頃からテレビや新聞などで、福祉に関する情報に関心を持ってチェックしてください。(0.5時間程度)   |      |                                  |
| テキスト           | プリントを使用します。   |      |                                  |
| 参考文献・資料        | 石田慎二/山縣文治編著『社会福祉・第5版』ミネルヴァ書房  |      |                                  |
| 成績評価の方法        | 【レポート(30%)、定期試験(70%)】<br>上記評価項目を基にして総合的に判断します。<br>・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。<br>・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。<br>・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。<br>・レポート課題は授業内又は掲示板で指示します。 |      |                                  |

|           |   |
|-----------|---|
| オフィスアワー   | 毎週火曜日・水曜日 16:00~17:00<br>※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。   |
| 成績評価基準    | 平成28年度(2016)以降入学した学生<br>秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)<br>平成27年度(2015)以前に入学した学生<br>優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) |
| 学生へのメッセージ | 国際化の進展や価値観の多様化が進む中で、インクルーシブな社会を育てる必要はますます高まっています。インクルーシブ教育は国の方針ともなっていますが、取り組みは遅れています。この授業をとおして、福祉の意味やあり方について共に考えていきましょう。                        |